



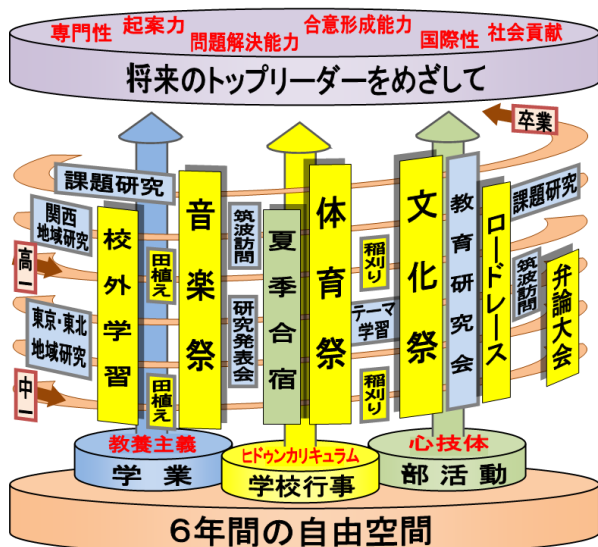
## 設置の趣旨・使命と教育目標

自由闊達の校風のもと  
挑戦し、創造し、貢献する生き方をめざす

1996年に上記の教育目標を掲げ、国際的に貢献できるグローバル人材の育成をめざしている。同時に、筑波大学の附属学校として中等教育に関する研究を実践するとともに、3拠点(先導的教育・教師教育・国際教育)構想を推進しながら「国の拠点校」をめざしている。

## 教育活動と特色

20年、30年先を見すえたリーダー形成



生徒は6周ないしは3周、各プログラムに取り組み、将来のトップリーダーへの資質を高めていく。

### ●教養主義で深い学問的学びを

授業では、全教科を重視した教養主義を貫いている。また、机上の学習にとどまらず、「総合的な学習の時間」として、フィールドワークや少人数による探究学習、発表学習などを盛んに行っている。

### ●稲作のある全国唯一の中高一貫男子校

明治期に近代農法を伝えた“ケルネル田圃”を継承し、中1と高1は苗床作り、耕起、田植え、草取り、稲刈り、脱穀を体験する。これらを通して、労作体験のみならず、環境問題や稲作文化の歴史を学ぶ。

### ●学校行事で創造性とリーダーシップを育む

多くの学校行事の中で、とくに『筑駒の3大行事』と呼ばれる音楽祭、体育祭、文化祭は、6学年で行事に取り組む協働作業であり、生徒文化として定着している。それを通してリーダーに必要な創造性、特に起案力・問題解決能力・合意形成能力などが育っていく。

## 3拠点構想への取組み

創造性豊かな中等教育の研究開発・実践・発信  
～附属学校として国の拠点校をめざして～

### ①SSH研究開発校としての先導的教育の推進

3期15年にわたるSSH研究開発の業績と成果を活かし、第4期(2017～21)年度では「国際社会に貢献する科学者・技術者の育成をめざした探究型学習システムの構築と教材開発」を研究課題として、探究型学習教材と学習プログラムを開発・実践し、理数系人材に効果的な学習システムの構築をめざしている。

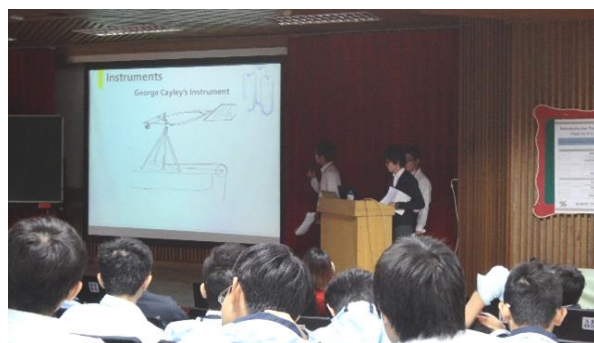
### ②現職教員から大学生まで豊かな研修の場を

年2回の教育実習だけでなく、大学生から現職の教員に至るまで、研修の場を数多く企画し提供している。  
・教育研究会 ・教員免許状更新講習  
・SSH数学教員研究会 in 筑駒

### ③国際交流による教育のグローバル化

SSH研究開発校とユネスコスクールであることの利点を活かし、近年は国際交流を盛んに行っている。

- 海外での国際交流と生徒の活躍  
台湾台中第一高級中学での生徒研究交流会／釜山国際高校との相互文化交流／生徒の海外派遣(タイ、韓国、台湾、アメリカ)／国際科学技術コンテストへの参加(過去に金メダル23、銀メダル38、銅メダル18)
- 国内での国際交流  
筑波大学教員研修留学生との交流／海外訪問団との交流(中国、台湾、韓国)／イングリッシュルーム



台湾台中第一高級中学での生徒研究交流会

### ●筑駒アカデミアなどによる社会貢献

「筑駒アカデミア」の名称で、本校関係者(教員・生徒・卒業生など)の人材を活用し、講演会と公開講座を開催している。この企画は、世田谷区の共催事業、目黒区の後援事業の認定を受けている。また、生徒や教員が地元や茨城県の小学校で出前授業も行っている。

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 4-7-1

電話：03-3411-8521 担当：大野(高校副校長)